

京都五山の大伽藍



T O F U K U - J I T E M P L E

Tofuku-ji Temple

Tofuku-ji Temple is a famous Zen temple, and is one of the five "Kyoto Gozan" temples. It was established in the Kamakura Period by a great statesman, Kujo Michie. The name "Tofuku-ji" was taken from the two major temples in Nara, Todai-ji Temple and Kofuku-ji Temple. In the Butsuden (Buddha hall), there is a 15-meter tall standing Buddha statue, erected to indicate that the temple was Kyoto's "new Buddhist temple".

The priest who started the temple was Enniben (1202-1280), and was given the title of "Shoichi Kokushi". He was the first priest to receive the title of "Kokushi (national priest)" from an emperor of Japan. This temple has maintained its Zen architecture since the Middle Ages, and as the main Rinzai sect temple, can boast a magnificent Doto Garan complex, the only one of its kind in Kyoto. Since its establishment 750 years ago, it has served as a Zen temple that provides visitors with the opportunity to see the essence of Zen. This is most visible through the wealth of medieval Zen artifacts seen throughout the premises.

大本山東福寺

东福寺是被誉为“京都五山”之一的著名禅寺，由镰仓时代的摄政关白九条道家所建。“东福寺”以奈良二大寺院——东大寺和兴福寺的“东”和“福”二字命名。佛殿内安放有高15米的立佛像，并由此营造了京都的“新大佛寺”。

东福寺第一代住持为之后被赠与“圣一国师”称号的円尔弁円(1202~1280)，他也是日本首次被天皇授予“国师”称号的一代高僧。作为临济宗大本山的东福寺，继承了中世纪以来的禅宗建筑，拥有京都首屈一指的宏大的殿堂、佛塔和伽蓝。东福寺创建至今750年，作为中世纪禅宗遗址随处可见的禅寺，在京都也是非常罕见的。

대본산 도후쿠지 절

도후쿠지 절은 「교토고잔(京都五山)」의 하나로 손꼽히는 유명한 선종 사찰입니다. 가마쿠라 시대에 섭정과 관백을 역임했던 「구조 미치이에」 공이 창건하였습니다. 「도후쿠지 절」이라는 이름은 나라 지방의 2대 사찰인 도다이지 절과 고후쿠지 절의 「도(東)」와 「후쿠(福)」의 2글자를 조합하여 명명하였습니다. 불당에는 높이 15미터의 대불 입상을 안치하여 교토에 새로운 「대불상」 절을 조영하였습니다.

창시자는 훗날, 「쇼이치 국사」의 칭호를 받았던 엔니벤넨(1202~1280) 스님입니다. 그는 일본에서 처음으로 천황으로부터 「국사」라는 칭호를 받았던 위대한 고승입니다. 도후쿠지 절은 교토에서 가장 장대한 당탑가람을 자랑하는 임제종의 대본산으로서 중세 이래의 선종 건축을 계승해 왔습니다. 창건 이래 750년, 중세의 선종 유적을 경내의 도처에서 견학할 수 있는 선종 사찰로서 교토에서도 좀처럼 찾아보기 어려운 사찰입니다.

臨済宗大本山 東福寺 Tofuku-ji Temple

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目
TEL 075-561-0087 FAX 075-533-0621

交通○JR奈良線・京阪電車「東福寺」駅から徒歩10分。
または京都市バス「東福寺」バス停下車
<http://www.tofukaji.jp/>

写真／水野克比古



大本山 東福寺

拝観券：通天橋庭園・普門院庭園【大人】

大本山 東福寺 看楓拝観

創建七年五〇九年



聖一国師像 Shoichi Kokushō

一時坐禅すれば、一時の仏なり
一日坐禅すれば、一日の仏なり
一生坐禅すれば、一生の仏なり

「聖一国師語録」より

の歴史、脈々と。



本堂 Hondo (main hall)

京都五山 東福寺

創建は古く鎌倉時代。ときの摂政
関白・藤原(九條)道家が南都東大寺
と興福寺から「東」と「福」の二字をと
り、九條家の菩提寺として造営。仏殿
には高さ十五メートルの大仏立像を安
置。京の「新大仏寺」として、一二三六年
より実に十九年をかけて、都最大の
伽藍を完成させました。

開山には聖一国師を仰ぎ、当初は天
台・真言・禪の三宗兼学として壮大な
堂塔伽藍を配置。鎌倉末期の相次ぐ
火災により大部分を焼失しましたが、

中世の禪宗建築を随所に遺しています。
境内にある通天橋は紅葉名所として
有名。昭和の作庭家・重森三玲による
方丈庭園も知られるところです。

直ちに復興に着手。一三四七年、前関
白一條経通により仏殿が再建され、京
都五山の一つにあさわしい禪宗寺院と
して、偉容を取り戻しました。

その後は足利、豊臣、徳川家によつて
保護修理が加えられ、奇跡的に都の兵
火を逃れて中世以来の堂塔伽藍を継承。
惜しくも明治十四年、方丈・仏殿・法堂
などを焼失・再建されましたが、今なお

境内にある通天橋は紅葉名所として
有名。昭和の作庭家・重森三玲による
方丈庭園も知られるところです。

日本で最初に国師と称された禪僧

聖一国師を開山として

聖一国師こと円爾弁円(一一〇二~

一二八〇)は、天皇より初めて国師号を
贈られた禪僧です。駿府国(現在の静
岡市栃沢)に生まれ、久能山久能寺(現
在の久能山東照宮)に登つて堯弁法師
の室に入りました。その後、三井園城寺
で天台学徒となり、榮西(建仁寺開山)
の高弟、行勇・榮朝を師としました。

三十三歳で宋に渡り、杭州径山万寿
の佛鑑禪師の法を嗣ぎ、六年を経て
帰朝。筑紫に崇福寺、承天寺を建て法
を説き、名声が国内外に及ぶや摂政関白・

九條道家に都に迎えられ東福寺を開山。
やがて歴代天皇や幕府の帰依を受け、
京の岡崎尊勝寺、大阪四天王寺、奈良
東大寺などの再建復興にも尽力。延暦
寺の天台座主慈源や東大寺の円照らを
教導して、その学徳は国中に称えられ
ました。

国師は中国より多くの典籍を持ち
帰り、文教の興隆に寄与。また水力を
用いて製粉する器械の構造図を伝えて
製麵を興すとともに、杭州径山の茶の
種子を郷里に伝えた静岡茶の茶祖でも
あります。

通天橋・普門院庭園 拝観についてのお願い

- 境内での三脚等による撮影、およびスケッチ等はご遠慮ください。
- 境内での飲食・喫煙はご遠慮ください。
- ペットを連れてのご参拝は、ご遠慮ください。
- 係員が本券の提示を求めることがあります。
- 再入場はできません。(当日限り有効)
- その他、係員の指示に従ってください。

大本山
東福寺



